

がんに関する臨床指標1

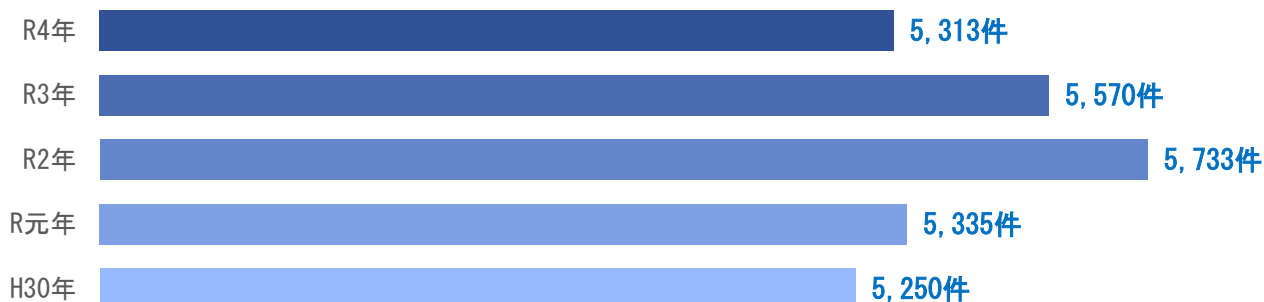
指標名		H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	説明
がん 手術件数	肺がん	85件	83件	81件	84件	66件	手術を受けられる場合の目安として平均在院日数(平均入院日数)、手術件数を提示致します。
	胃がん(切除、全摘) (開腹・腹腔鏡手術)	34件	34件	41件	25件	34件	
	肝がん切除	17件	23件	20件	19件	32件	
	肝がんTAE	54件	47件	22件	21件	23件	
	肝がんラジオ波焼灼術	12件	7件	5件	4件	2件	
	大腸がん (開腹・腹腔鏡手術)	119件	127件	124件	115件	114件	
	乳がん	141件	161件	154件	141件	145件	
	膵がん	20件	13件	13件	18件	8件	
胆道がん	10件	8件	9件	1件	4件	* TAEとは、がんに栄養を運んでいる血管をふさぎ、がん細胞を死滅させようとする治療法のことです。	
がん 平均在院日数 (手術症例)	肺がん	9.8日	9.0日	10.0日	10.4日	9.6日	* ラジオ波焼灼術とは、腫瘍の中にラジオ波(AMラジオなどの周波数に近い約450キロヘルツの高周波)電流を流すことにより、病変を固める手術方法です。 (症例数が少ないがん種の平均在院日数は、1症例毎の在院日数の影響を受けやすく、平均値が年により大幅に変化することがあります。)
	胃がん(切除、全摘) (開腹・腹腔鏡手術)	20.2日	20.6日	20.9日	17.0日	17.3日	
	肝がん切除	16.2日	13.6日	16.2日	20.9日	13.9日	
	肝がんTAE	9.4日	12.0日	9.2日	9.3日	12.7日	
	肝がんラジオ波焼灼術	5.3日	6.3日	5.8日	8.0日	8.0日	
	大腸がん(結腸～直腸) (開腹・腹腔鏡手術)	20.1日	19.8日	18.1日	20.3日	17.7日	
	乳がん	10.5日	9.4日	8.7日	9.6日	9.3日	
	膵がん	23.3日	29.8日	24.1日	65.4日	30.8日	
胆道がん	19.3日	23.8日	44.0日	32.0日	24.0日		
がん 平均在院日数 (手術症例)	消化器がん	43回	43回	48回	49回	51回	* キャンサーボードとは、外科系医師、内科系医師、病理医師、放射線科医師、薬剤師、看護師等が集まり、がん患者さん一人一人の治療方針を検討する会議です。
	呼吸器がん	50回	50回	50回	48回	50回	
	乳腺症例検討会	13回	12回	12回	20回	18回	
	血液内科カンファレンス	156回	156回	150回	145回	148回	
	外科手術症例検討会	101回	101回	100回	101回	95回	
	泌尿器科カンファレンス	42回	42回	42回	40回	42回	
	婦人科症例検討会	24回	24回	24回	24回	48回	
	総合がんカンサーボード(原発不明がんの がんの症例を含む)	10回	10回	2回	3回	2回	
	頭頸部がんカンサーボード	54回	73回	66回	97回	112回	
	骨転移がんカンサーボード	7回	50回	61回	96回	51回	

がんに関する臨床指標2

指標名	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	説明
がん患者に対する緩和ケア介入件数 (緩和ケア診療加算数)	5,250件	5,335件	5,733件	5,570件	5,313件	疼痛、倦怠感、呼吸困難等の身体症状または不安、抑うつなどの精神症状を持つがん患者さんに対し、緩和ケアチーム(医師、看護師、薬剤師、管理栄養士)が診療を行った件数です。
外来化学療法施行延数	8,261件	8,493件	8,285件	8,738件	9,776件	従来入院して治療をすることが中心だった化学療法が、新しい治療薬や副作用に対する対処法の進歩により外来治療でも可能となっています。当院でも、生活ペースに合わせた外来化学療法を行っています。
抗悪性腫瘍剤処方管理加算数	6,334件	6,960件	8,050件	8,356件	8,477件	外来患者さんに対し、抗悪性腫瘍剤の留意点等について文書で説明し、適正使用及び副作用管理に基づく処方の管理を行っております。
レジメン種類数	379件	411件	456件	486件	532件	レジメンとは、がんの薬物療法を安全に行うために薬の種類や量、方法などを時系列で示した治療計画書のことです。 (H28年よりカウント方法を変更しました。)
がん登録件数 (全登録数)	1,930件	2,019件	1,832件	1,971件	2,047件	がん登録とは、がんの診断を受けた患者さんの状況を厚生労働省に登録し、分析する仕組みです。がん患者数、罹患率、がん生存率、治療効果の把握など、がん対策の基礎となるデータの把握のために必要なものです。もちろん、個人情報保護には万全を期しております。 部位別登録数(集計登録数)は ホームページ→診療案内→地域がん診療連携拠点病院→院内がん登録 をご覧ください。 URL www.nagano-med.jrc.or.jp/cancer/registration/php

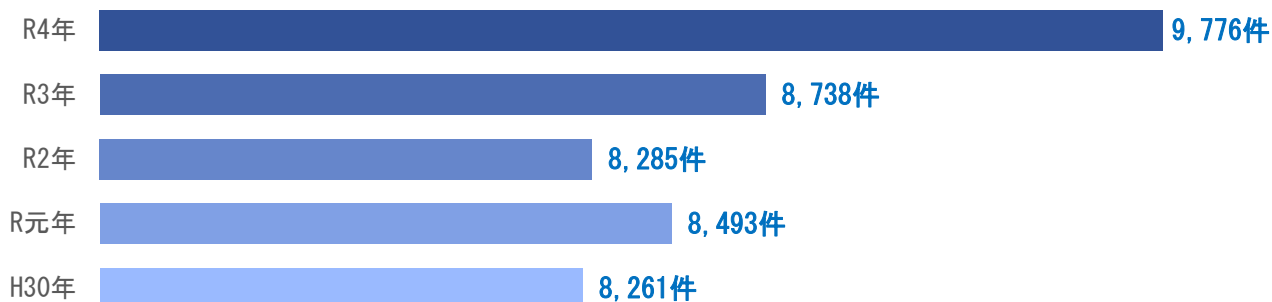
4) がんに関する臨床指標

がん患者に対する緩和ケア介入件数



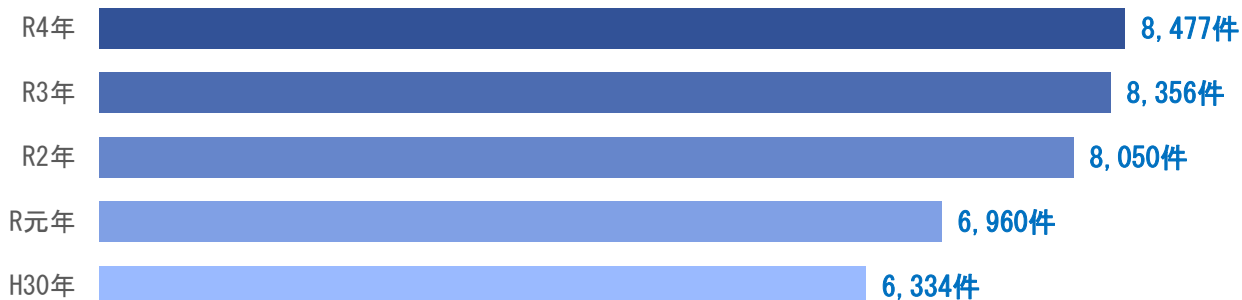
疼痛、倦怠感、呼吸困難等の身体症状または不安、抑うつなどの精神症状を持つがん患者さんに対し、緩和ケアチーム（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士）が診療を行った件数です。

外来化学療法施行延数



従来入院して治療をすることが中心だった化学療法が、新しい治療薬や副作用に対する対処法の進歩により外来治療でも可能となっています。当院でも、生活ペースに合わせた外来化学療法を行っています。

抗悪性腫瘍剤処方管理加算数



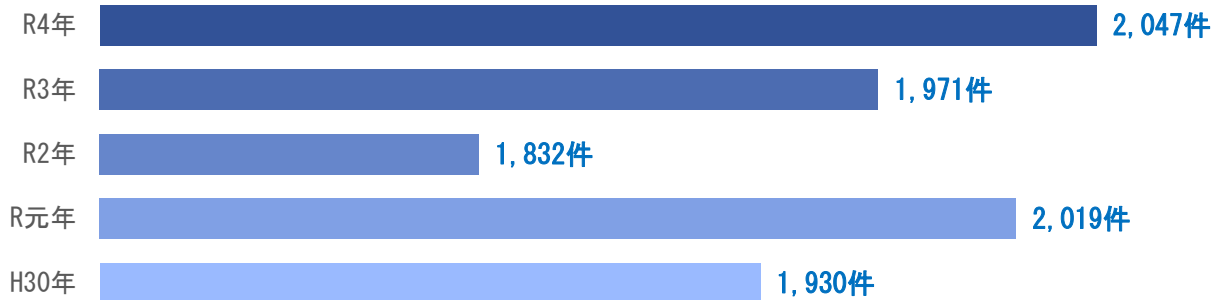
外来患者さんに対し、抗悪性腫瘍剤の留意点等について文書で説明し、適正使用及び副作用管理に基づく処方の管理を行っております。

レジメン種類数



レジメンとは、がんの薬物療法を安全に行うために薬の種類や量、方法などを時系列で示した治療計画書の事です。

がん登録件数



がん登録とは、がんの診断を受けた患者さんの状況を厚生労働省に登録し、分析する仕組みです。がん患者数、罹患率、がん生存率、治療効果の把握など、がん対策の基礎となるデータの把握のために必要なものです。もちろん、個人情報保護には万全を期しております。

部位別登録数（集計登録数）は [ホームページ](http://www.nagano-med.jrc.or.jp/cancer/registration/php)→診療案内→地域がん診療連携拠点病院→院内がん登録 をご覧ください。 URL www.nagano-med.jrc.or.jp/cancer/registration/php